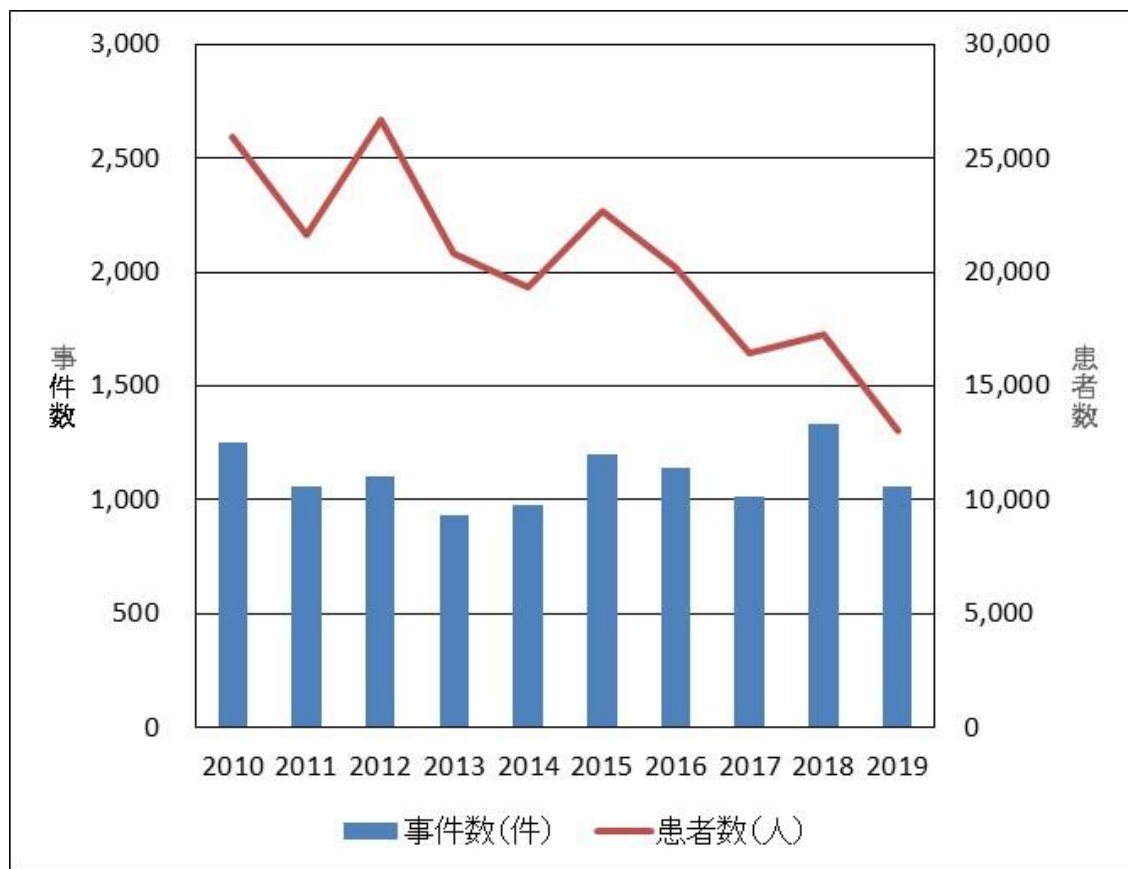




1. 全国食中毒の事件数と患者数の推移

2010年～2019年の全国における食中毒の発生状況(報告数)をみますと、2019年は2018年に比べて事件数、患者数とも減少しました。事件数はこの10年間、ほぼ横ばいの状況が続いていますが、患者数は減少傾向がみられます。

2019年の死者数の3件は、植物性自然毒(イヌサフラン2件)、動物性自然毒(フグ1件)を原因とするものでした。



	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
事件数(件)	1,254	1,062	1,100	931	976	1,202	1,139	1,014	1,330	1,061
患者数(人)	25,972	21,616	26,699	20,802	19,355	22,718	20,252	16,464	17,282	13,018
死者数(人)	0	11	11	1	2	6	14	3	3	3

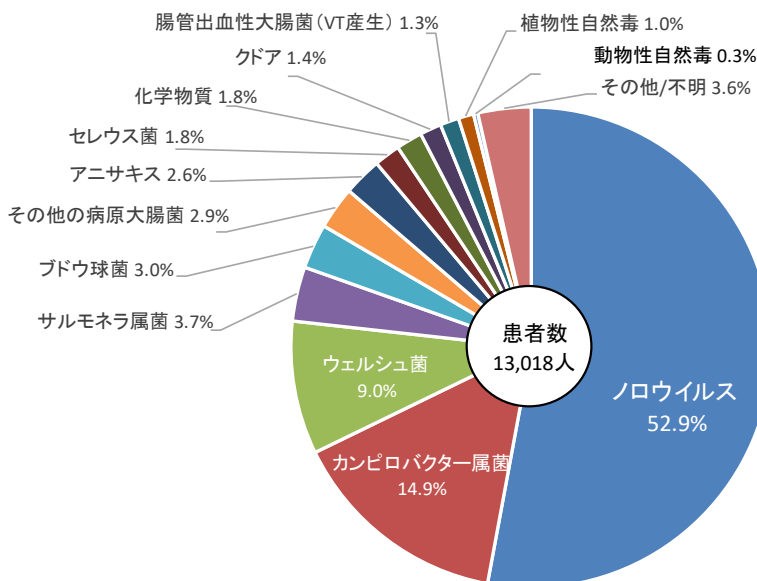
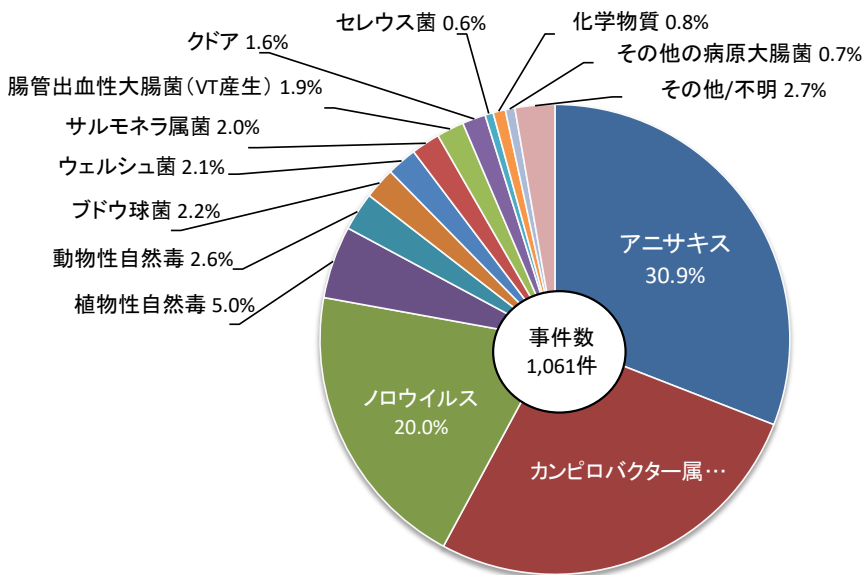


2. 病因物質別の食中毒発生状況(2019年)

2019年の病因物質別の食中毒発生状況を見ますと、事件数は、2018年に続いて寄生虫のアニサキスが328件で第1位になりましたが、2018年に比べると140件減少しました。アニサキスに次いでカンピロバクター属菌が286件、ノロウイルスが212件で、全体の約78%を占めています。

患者数はノロウイルスが6,889人で全体の52.9%を占めています。次いでカンピロバクター属菌による患者数が1,937人、ウェルシュ菌による患者数が1,166人でした。ウェルシュ菌による患者数が前年に比べて半分に減ったことと、腸炎ビブリオによる事件の報告数がなかった反面、セレウス菌による患者数が2.7倍に増加しました。

最近3年間の事件数、患者数の推移は次頁をご参照ください。



3. 最近3年間の病因物質別の食中毒発生件数の推移

病因物質	2019年		2018年		2017年	
	事件数	構成比	事件数	構成比	事件数	構成比
アニサキス	328	30.9%	468	35.2%	230	22.7%
カンピロバクター属菌	286	27.0%	319	24.0%	320	31.6%
ノロウイルス	212	20.0%	256	19.2%	214	21.1%
植物性自然毒	53	5.0%	36	2.7%	34	3.4%
動物性自然毒	28	2.6%	25	1.9%	26	2.6%
ブドウ球菌	23	2.2%	26	2.0%	22	2.2%
ウェルシュ菌	22	2.1%	32	2.4%	27	2.7%
サルモネラ属菌	21	2.0%	18	1.4%	35	3.5%
腸管出血性大腸菌(VT産生)	20	1.9%	32	2.4%	17	1.7%
クドア	17	1.6%	14	1.1%	12	1.2%
セレウス菌	6	0.6%	8	0.6%	5	0.5%
化学物質	9	0.8%	23	1.7%	9	0.9%
その他の病原大腸菌	7	0.7%	8	0.6%	11	1.1%
腸炎ビブリオ	0	0.0%	22	1.7%	7	0.7%
その他/不明	29	2.7%	43	3.2%	45	4.4%
計	1,061	100.0%	1,330	100.0%	1,014	100.0%

病因物質	2019年		2018年		2017年	
	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
ノロウイルス	6,889	52.9%	8,475	49.0%	8,496	51.6%
カンピロバクター属菌	1,937	14.9%	1,995	11.5%	2,315	14.1%
ウェルシュ菌	1,166	9.0%	2,319	13.4%	1,220	7.4%
サルモネラ属菌	476	3.7%	640	3.7%	1,183	7.2%
ブドウ球菌	393	3.0%	405	2.3%	336	2.0%
その他の病原大腸菌	373	2.9%	404	2.3%	1,046	6.4%
アニサキス	336	2.6%	478	2.8%	242	1.5%
セレウス菌	229	1.8%	86	0.5%	38	0.2%
化学物質	229	1.8%	361	2.1%	76	0.5%
クドア	188	1.4%	155	0.9%	126	0.8%
腸管出血性大腸菌(VT産生)	165	1.3%	456	2.6%	168	1.0%
植物性自然毒	134	1.0%	99	0.6%	134	0.8%
動物性自然毒	38	0.3%	34	0.2%	42	0.3%
腸炎ビブリオ	0	0.0%	222	1.3%	97	0.6%
その他/不明	465	3.6%	1,153	6.7%	945	5.7%
計	13,018	100.0%	17,282	100.0%	16,464	100.0%

4. 原因施設別の食中毒発生件数(2019年)

原因施設	事件数	構成割合	原因施設が判明したものの構成割合	患者数	構成割合	原因施設が判明したものの構成割合	一事件あたりの患者数	死者数	構成割合	原因施設が判明したものの構成割合
飲食店	580	54.7%	65.4%	7,288	56.0%	58.7%	12.6	-	-	-
家庭	151	14.2%	17.0%	314	2.4%	2.5%	2.1	3	100.0	100.0
販売店	50	4.7%	5.6%	61	0.5%	0.5%	1.2	-	-	-
事業場	33	3.1%	3.7%	865	6.6%	7.0%	26.2	-	-	-
旅館	29	2.7%	3.3%	1,719	13.2%	13.8%	59.3	-	-	-
仕出屋	19	1.8%	2.1%	868	6.7%	7.0%	45.7	-	-	-
製造所	13	1.2%	1.5%	871	6.7%	7.0%	67.0	-	-	-
学校	8	0.8%	0.9%	228	1.8%	1.8%	28.5	-	-	-
病院	4	0.4%	0.5%	211	1.6%	1.7%	52.8	-	-	-
その他・不明	174	16.4%	-	593	4.6%	-	3.4	-	-	-
計	1,061	100.0%	100.0%	13,018	100.0%	100.0%	12.3			

※本資料は厚生労働省ホームページに掲載されている食中毒統計調査資料のデータを編集したものです。元となるデータは次のURLをご参照ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/04.html